

高瀬神社 社報

越中一宮

第21号

平成21年4月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部写真館 南部 栄氏

社頭講話

「御酒について」

宮司 藤井秀弘

何も考えず机上の辞書をめくりながらひろい読みしていると「酒」という文字が現われ、これが必要以上に気になって、「酒」について書いてある別の書籍の文章や事柄を探しはじめました。

私は酒を嗜む方ではなく、どちらかといえば酒に弱い方です。「酒」という文字は好きです。だから酒という文字を見たとき少々調べてみようかと心が動いて先ず辞書で「醸造」を引いてみると「醸す」と書いてあり、「醸す」は「醸む」の変形であり「カモス」より「カム」の方が歴史的には古い使い方だと書いてありました。「醸す」と云うのは穀物を発酵させて酒を造ること、即ち醸造のことです。酒を造るために必要なことは先づ穀物、小麦稗粟、次に清水、それに発酵させる麹が必要となります。「和名抄」の中に麹のことについて「カムタチ」と云い「衣(かび)を生じて朽敗したもの」と書かれ、

更に「カムはカビ(黴)カブ(殆)タツは立つ・発つでカビの繁殖する様子のごとで言葉が転じて「麹」となったと書いてあります。

「ハム」は「カム」と云い、古代では現代のように酒造の技術がなかったと思うのですが酒は存在していて宴の席で飲まれていたようです。麹をつくることから始めないと酒造りができない。麹をつくるために穀物を噛み、瓶の中で発酵させて現在の麹のかわりとなるものを作り酒造りをしたようです。

江戸時代、新井白石はカムタチと云うのはカピタチ(黴起)で米にカビを生えさせることだと語源辞書『東雅』の中に書いています。また、『日本書紀』の中に応神天皇がおよみになった御歌(國櫛の奏歌)に

櫃の生に 横臼を作り
横臼に 醸める大御酒
甘らに 聞しもち飲せ
麻呂が父。

「カシ」の林で縦に長いものを縦白、横に広いものを横白と云いその横白で醸造した酒です、おいしく召上って下さい、お父上さま」と云った歌があります。宴席で父君に私が造ったお酒ですよとおすすめになつている様子が連想されます。

『古事記』にも応神天皇の御代に渡来した人達によって酒造がおこなわれたと記されており、渡来した人たちを「今來の人」と書いてあります。大陸から渡来した人たちの事なのですが、すばらしい文化を有する人たちであったので、後世に「今來神」として祀られ、崇敬されました。

「掌酒」。酒を造ることを司る人を用いるのですが、とくに神に奉る酒を管掌する立場にある人をさす場合が多いようです。『日本書紀』崇神天皇八年の条に

夏四月庚子の朔日(十六日)、高橋邑(奈良県天理市樺本町付近)の人活日をもちて大神の掌酒となしき。冬十二月丙申の朔にして乙卯(二十日)の日天皇大御田根子をもちて、大神を祭らしめき。この日、活日み

づから神酒をささげて、天皇に献る。よりに歌して曰く。この神酒は

我が神酒ならず

大和成す

大物主の醸みし神酒

幾久、幾久：

と書かれている。

解すると、掌酒：佐介弼苕と読み酒を造る人の意味のようですが、高橋邑に「活日」と云う人が居てこの人に大神の酒造を命じたところ十二月二十日に「活日」がみづから神酒をささげて、天皇に献り、そうして歌をよんで云うには、「この酒は私の醸した酒ではありません。大和の国をお作りになった大物主の神さまが醸された酒です。さあ幾久しく幾久しくめでたく召し上げ。」の意味をもつてうたわれた歌のようです。

昔、古き時代から人々の智慧によって現在のような麹がなくとも酒造りがなされ、神々に献酒された様子は、記紀ばかりでなく色々な文献に見ることができます。更に酒はその地方のつくり方によって異なることも申し添えておかねばと思うのです。古典の中でも各国の『風土記』

などにもそれぞれの酒造りが記録されています。

(株)ジェイアール東日本企画が発行している「トランヴェール」と云う月刊誌を読むのを楽しみにしているのですが、以前の特集で「風土を味わいつくす。長期熟成酒について。」という記事があり、酒を嗜まない私でも楽しく読むことができました。日本酒と地方の料理との組み合わせなどが紹介されており、実際に出かけてみたくなりました。酒を楽しむということは今も



「歴史ふる高瀬に住して」

南砺市教育委員会
教育委員長職務代理者 石岡敬夫

高瀬の日々には不思議な感動があります。

「トーン、トントン……」「ゴーン、ゴーン……」。ほぼ毎日のように聞こえるこの二つの音。高瀬神社の太鼓の響きと近隣の寺の時刻を告げる梵鐘の音が、歴史ある地の風格とすがすがしさを感じさせるのです。

高瀬神社が農耕生産活動を営

昔もかわりませんが、楽しみ方は今のほうがバリエーション豊富でしよう。全国各地へ出かけるのも便利になりました。取り寄せるも簡単にできます。入手困難という貴重なお酒もないような世の中です。これが飽食の時代にした原因かもしれません。各地方で丹精込めてつくられた酒は、各地の味がします。それを味わいながら酒造りの神々に感謝し、その伝統を受け継いできた杜氏さんたちにも敬意を表さなければならぬと思います。

む地域の守り神の社として、相当古くから鎮座されていたことは疑う余地もないと思いますが、史料上はじめて姿をあらわしたのは奈良時代の末です。宝亀十一年(西暦七八〇年)、『続日本紀』に「高瀬神」の神名のもと、「従五位下」に叙せられたのが初見であるとされています。

その後、国家的認識の高まり

の中で次々と昇叙を重ねる一方、戦国期における衰退や加賀藩前田家による加護など歴史の変遷をたどっています。さらに明治期以後は、国家の激動的な歩みとともに大きな変革の歴史であったと言われていますが、今日では「越中一宮」として崇敬する県内外数十万人の参詣者で賑わいをみせています。

ところで、天神地祇を祭る作法の中で最重要視されている神官奏上の「祝詞」には、最も素直な誠の心が込められていると言われています。歴史学者・井上光貞氏は古代人の罪の意識について、「大祓祝詞」の天津罪を取り上げ、「畦放・溝埋・樋放・類蒔・串刺」は農耕の共同生活を侵害する罪とし、以下のように解説しています。「曰く、田

の畦をとりはなつ畦放、排水路を埋めてしまふ溝埋、用水の樋を取り外す樋放は灌溉施設の破壊行為である。また、類蒔は他人がすでに播種によって主張している土地の占有権に対する侵害であり、串刺は穀物が実ったとき他人の田に串を立て、その収穫を自分のものだといって侵害することだ」と述べているの

です。

古代社会における農耕地をめぐる争いは、中世・近世へと時代が進むにつれて拡大し、近代では我が国も含めた世界的な国と国との領土をめぐる争いとなってきたことは周知の通りです。古代から今日まで、全国で奏上されている「大祓祝詞」は、個人や家族に関わる罪穢れを祓い清めるとともに、そうした領土侵害の罪を神々に奏上し赦しを請い、争いのない平和社会到来の祈願なのでありましょうか。今、私は新たな感慨を抱いております。

高瀬神社の南方約五〇〇メートルに国指定の高瀬遺跡があります。奈良・平安期の史料に見える高瀬神社の重要性を実証した、いわば古代の生き証人的存在です。この遺跡で毎年実施されている「菖蒲まつり」のスタートに、遺構に咲いた菖蒲を神社に奉納する神事が行なわれます。そこには一三〇〇年の隔たりを越えた古代人と現代人の融和を感じさせる不思議な趣があり、歴史ふる高瀬の魅力がここにもあります。

祭事暦

節分祭

二月三日「節分祭」が斎行されました。

祭典後、拝殿において宮司以下神職・巫女が福櫛を手に「福は内、鬼は外」の掛け声で豆を撒きました。当日は五十名の参列者がありました。



また、祭典に先立ち、巫女が「高瀬保育所」を訪問し、園児に「福豆」を手渡しました。巫女から「みんな元気でなかよくしましう」の言葉をか

けられ、「ありがとうございまして」と元気な声で答えました。



紀元節祭

二月十一日、「紀元節祭」が斎行されました。

宮司祝詞奏上、神楽「鈴扇の舞」につづき、「紀元節」の歌が唄われ、昨年につづき福野松風会（会長山口尚岳）会



員二十二名により吟詠が奉納され、神武天皇の御威徳に感謝申し上げます。また、功霊殿でも奉

納され、御英霊に感謝の誠を捧げました。

- （奉納曲）
- ・御本殿
- 「弘道館にて梅花を賞す」（徳川齊昭）
- 「暁に発す」（橋本左内）
- 「春日の作」（新井白石）
- 「野尻岩武雄神社」（吉波愷堂）
- 「後夜仏法僧鳥を聞く」（空海）
- 「春」（佐佐木信綱）
- 「山行」（杜牧）
- ・功霊殿
- 「生田に宿す」（菅茶山）
- 「母を奉じて嵐山に遊ぶ」（頼山陽）

祈年祭

二月十七日、今年の豊作と産業の発展を祈る「祈年祭」が斎行されました。

宮司の祝詞奏上、巫女による神楽「浦安の舞」につづき、氏子・農協関係者約三十名の参列者は玉串を奉り拝礼しました。

また、本年も井波松風会（小橋外喜雄会長）会員により吟詠の奉納がありました。

- （奉納曲）
- 「越中」（廣瀬旭荘）
- 「山ざくら」（本居宣長）

鎮火祭

火災が無いよう祈念する鎮火祭が去る三月八日斎行されました。

本殿での祭典につづき、境内特設の斎場で「忌火」を用いて着火し、吉岡敏明井波庄川消防署長以下関係者約二十名の参列者が見守る中、松平信隆南砺市消防団井波方面団第五分団長以下団員が鎮火具（水・砂・川菜）で鎮火をしました。



杜のつむぎ

平成二十一年初詣

穏やかな天候に恵まれた本年の初詣は、約二十万人（昨年十七万人）の参拝者で賑わいました。また、三ヶ日以降は官公衛・事業所の方々が参りになり、今年一年の地域の安全と更なる除災招福や商売繁栄を祈願されました。

年末の「初詣巫女認証式」で委嘱された巫女約七十名がこやかに大勢の参拝者を迎えました。本年も関係各位のご協力により、事故もなく初詣行事を終えることができました。



石橋国子
「PATCHワークキルト展」
開催

この世界では全国的に有名な栃木県にお住まいの石橋国子さんが、新春ブライダルフェア会場に作品を展示されました。

今回は艶やかな色彩の「ベツドカバー」を中心に飾られ、華を添えています。いただきました。

今後のご活躍をお祈り申し上げます。



献穀田のこと

井波地域中核農業士協議会（松井俊明会長）による「高瀬神社



献穀田」の奉耕者が村田文夫氏に決定し、去る三月二十三日に種籾の清祓式が行われました。

本年は、南砺市沖の水田で耕作され、五月中旬に「御田植祭」、九月中旬に「拔穂祭」が斎行されます。収穫された初穂は十一月二十三日の「新嘗祭」で御神前にお供えされるほか、伊勢の神宮に「初穂米」として奉納される予定です。

（本年奉耕者）



村田文夫氏

南砺市沖在住

一月三日、「福野糸瓜句会」（梅島くにを会長）による初詣句会が開催されました。奉納句は以下の通りです。

大幣の風が頭上へ淑気満つ
 雪雫ひつきりなしの芭蕉堂
 恙なく大拍手の喜寿の春
 浄蓮寺雪の墓石の立ち並ぶ
 八乙女の山気振りくる初詣
 鈴の儀を三日巫女より受けにけり
 百選の檜一幹の雪しずれ
 力まばずまはりに溶けて去年今年
 琴の音の流れて宮の初句会
 また一人破魔矢かざして急ぎゆく
 ふところに大寺抱き山眠る
 氏神の大杉にある淑気かな
 丑一字彩を混じえて筆始め
 初春をことほぎ床の鼓打つ
 額つきし善男善女淑気満つ
 盆栽の余生真赤な寒椿
 抱き上げて孫に受けさす破魔矢かな
 一管の笛の清しや初祝詞
 大鳥居今年も雪の一字句
 兄文系弟理系明の春
 遊びに來いと追伸の初便
 新春や心豊かに筆運ぶ
 猛吹雪ローカル列車押されゆく
 誰がかざす破魔矢鈴音従いてくる

梅島くにを
 若土 白羊
 成瀬 雄達
 富川 敬三
 宇波可津志
 平野 孝純
 若松 章子
 波多 昌子
 中井 裕子
 三宅 静枝
 長谷 登世
 野原すみ子
 高桑 昌女
 森松 和子
 岡部 吉女
 竹部 時夫
 北川 越草
 藤井 乃婦
 福島 秋子
 新山 武子
 森田 桂子
 佐々木春子
 新井まさこ
 北川 秀子

フライダル情報

平成二十一年の年明けと共に新春フライダルフェアを開催いたしました。

今年は雪が深々と降り続くなか、百三十六名・五十六組の方々がお来場くださいました。

純白のウェディングドレスや色鮮やかなドレスを数多く展示して、ご来場の皆様には

お好きなドレスのご試着及びヘアセットやポイントメイク後、写真撮影を楽しんで頂きました。

ご来場のおお客様の中に、昨年のお正月に初詣にいられて、新春フライダルフェアの会場に来て頂き、ドレスの試着や写真撮影をされて、その後順調にお話が進み、「結婚式は絶対高瀬神社で行いたい」と今年のお正月に申込みに来ましたと大変嬉しいお言葉を頂戴する事が出来ました。

二千年の時を超え、大好きなおじいちゃん・おばあちゃんから時代から変わることなく続く幸せのステージに、これからも数多くのカップルに二人の歴史を刻み込んでもらえるよう、お手伝いをさせていただきます。



参 拜 日 誌 抄

(敬称略)

(平成二十年十二月〜平成二十一年二月)

「十二月」

五日 平成二十一年初詣打合せ会
(初詣安全祈願祭)

六日 神社庁砺波支部(例会)

八日 北陸神道青年協議会理事会

二十三日 初詣巫女認証奉告祭

「一月」

一日

責任役員 藤井義雄

高瀬区长 豊川修一

井波行政センター長 永井 巖

砺波市消防団庄川方面隊

庄川町マツイ会

南砺市消防団井波方面団

砺波市消防団庄下分団

砺波市消防団中野分団

若鶴酒造(株)

(株)ドラッグフジイ

社長 藤井 均

(株)コープとнами野

(有)石田自動車内張

二日 砺波市消防団柳瀬分団

砺波市消防団太田分団

根尾建設(株)

境自動車(株)マツオオートザム砺波

(株)鞍田組

(有)南山自動車工業

信栄金型(株)

成和建设(株)

成建運輸(株)

高岡石産(株)

成和興産(株)

(社)とнами青年会議所

三日 (株)ゴールドウイン

会長 西田東作

(株)越路ガーデン

(株)山崎

(株)シバタ建築設計事務所

福野糸瓜句会

福光運輸(株)

(有)佐々木運輸

(株)全ト運輸

とнами観光交通(株)

(株)御菓蔵

四日 米原商事(株)

若林遺族会

今井重機建設(株)

(有)才川造園土木

丸一工業

(株)東砺倉庫富山営業所

大和トランスポート(株)

イルカ交通(株)

高陵タクシード(株)

第一産業(株)

(株)浅野観光

(有)昭信機工

(株)なぎさ交通

日の出屋製菓産業(株)

日の出屋製菓産業柿山本店工場

ささら屋福光本店

五日

センダン電子(株)

得能建設工業(株)

(有)拓コーポレーション

(株)横川組

(有)清水重建

川田工業(株)

石黒自動車工業(株)

森田建設(株)

第一交易(株)

砺波信用金庫

木村産業(株)

片山工業(株)

(株)神能工務店

吉井工業(株)

(株)高清組

井波大建工業(株)

松本建設(株)(砺波市)

(株)佐藤渡辺砺波営業所

サンエー建工(株)

北陸電気工事(株)高岡支店

第一レンタル(株)

第一プロデュース(株)

第一トラス(株)

(有)第一ワークス

川田建設(株)北陸支店

(有)中元組

梅本建設工業(株)

第一編物(株)

(株)エイゼット

(株)得能組

第一交易(株)安全互助会

(有)マツイ・コーポレーション

(株)沖田組

清沢造園(株)

(有)シヨウエイ

中島商事(有)

形川研工業

(株)日本ビルサービス

日ビル商事(株)

(株)リペア

(財)北陸電気保安協会

とнами野事務所

笹嶋工業(株)

(株)斉藤組

山ワ建設工業(株)

(有)ジャスト・ドウ・イット

(株)北陸銀行井波支店

(株)富山第一銀行井波支店

(株)環境総合テクノス庄川営業所

東砺運輸(株)富山営業所

富山日中ビジネス協同組合

戸出運輸(株)

(株)松本土建

全国パーキンソン病友の会

富山県支部

NPO法人

難病ネットワークとやま

(株)喜八食品

五日

- (株)昭電北陸支店
- ホクリク住材(株)
- 金沢信用金庫砺波支店
- (株)ミルコン
- 住友生命保険相互会社福光支部
- YKKAP(株)高岡支店
- 庄川興業(株)
- ユーシン建設(株)
- 丸七商事(株)
- 笹谷工業(株)
- 東レ・テキスタイル(株)井波工場
- たち建設(株)
- たち建設運輸(株)
- (株)創和開発
- 日本板硝子ビルディングプロダクツ(株)
- (株)北陸銀行庄川支店
- 北陸センター
- テルシー
- (株)キセキ北陸砺波営業所
- ヴァンライズ(有)シエラ優華砺波店
- (株)橋梁メンテナンス
- (有)ファームズエンジニア福光
- (株)ビツクモーター石崎
- 大輝設備
- 米原商事(株)
- 整備センター 砺波工場
- (株)かんでんエンジニアリング
- 庄川営業所
- (有)さつき堂
- 日本通運(株)砺波支店
- 千代田機電(株)砺波営業所
- 千代田機電(株)小矢部営業所
- 六日
- (有)森田電気商会

砺波重機(株)

- タカハタ工業(株)
- 三栄自動車工業(株)
- (株)富山クボタ戸出営業所
- パナソニックエレクトロニクス
- デバイスジャパン(株)
- (株)砂土居造園
- 米原商事(株)
- レッカー事業部 砺波営業所
- 大當興業(株)
- (株)寺田
- (株)富山クボタ高岡南営業所
- (株)富山クボタ井波営業所
- (株)富山クボタ南砺営業所
- パナソニック
- 環境エンジニアリング(株)
- 津田工業(株)富山工場
- 普明会教団福野支部
- 七日
- 陸上自衛隊富山駐屯地
- (株)藤井組
- 市堰建工(株)
- 宗景造園
- 北陸電力(株)となみ野営業所
- 北陸電力(株)利賀営業分所
- (株)北陸電力リビングサービス
- となみ野営業所
- 中山工業(株)
- (株)福光石工
- (有)かたぎし電気
- 八日
- (株)ホンダロック富山工場
- コマツNTC(株)
- トヤマ機工(株)
- (株)アイエスケイ

九日

- (株)ファブリカセンイ
- (株)ハウス・ナビゲーシオン
- 日枝神社
- 宮司 平尾旨明
- 協立アルミ(株)本社工場
- 協立アルミ(株)井口工場
- (株)中村組
- (株)神下組
- 十日
- 辻建設(株)南砺支店
- 辻建設(株)災害防止協会南砺支部
- 普明会教団高岡支部
- 十一日
- 富山県神社庁
- 録事 松尾 樹
- 三五教富山主会
- トナミ運輸(株)砺波支店
- 新聖、腹玉成す会
- 高瀬青友会
- 十三日
- 射水神社
- 宮司 松本正昭
- 富山縣護国神社
- 宮司 梅野守雄
- 雄山神社前立社壇
- 宮司 佐伯 勉
- 伏木神社
- 宮司 尾崎定輝
- (株)高桑工務店
- (株)高桑工務店桑栄会
- 越中井波八乙女風神太鼓
- 十五日
- 南砺市遺族会井波支部
- 石島(株)

十七日

- 高宝会・瀬話会
- 二十日
- 石黒建設(株)北陸支社
- 富山石黒会
- 二十四日
- 神社庁砺波支部(新年例会)
- 福光急便(株)
- 福光産業(株)
- 二十五日
- 立正佼成会高岡教会
- 二十九日
- 愛知県神社庁西尾幡豆支部
- 二月
- 二日
- 富山県電気工事工業組合
- 南砺支部
- 五日
- 神宮宮掌 高橋弘幸
- 熱実山
- 八日
- 頸南観光初参りの旅
- 十五日
- 頸南観光初参りの旅
- (第一班)三十六名
- (第二班)四十二名
- 二十二日
- 神社庁砺波支部(例会)

※一月一〜三日の初詣団体参拝につきましては予約参拝をされました方を記載させていただきます。

平成二十一年

おおほらえ

「夏越の大祓」の

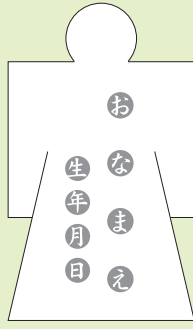
ご案内

日時 六月三十日(火)

午後三時より

「大祓」は知らず知らずのうち
に犯した罪穢を半年に一度
祓い落として元の清らかな
心身に戻り、続く半年も健全
に過ごせるようにと願う神事
です。

拜殿にて、「大祓詞」が奏
上され、各人が「人形」に罪
穢を移し、特に「夏越の大祓」
は前庭に設けられた「茅の輪」
をくぐり心身を清浄にもどし
ます。これからの暑い夏を健
康に乗り切るための大切な神
事です。どうぞご参列下さい。



※ご希望の方には案内状と人形を送付いたしておりますので、社務所までおたずね下さい。

ご案内

人形感謝祭

古くなった日本人形やぬいぐるみに感謝の気持ちを捧げる「人形感謝祭」は左記の通り斎行いたします。

・日時 七月十九日(日)

午前十時より

・受付 午前九時より十時まで

※当日のみ受付

・初穂料 社務所へおたずねください。

祭典にあわせ、「第九回人形展」も開催する予定です。

御祈祷

家内安全・交通安全・初宮詣・厄除・人生儀礼などの「御祈祷」

は毎日午前八時三十分より午後四時三十分まで随時受け付けております。

祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もありますので、事前に社務所までお問い合わせ下さい。

戌の日(安産祈願)

四月十一日・二十三日

五月五日・十七日・二十九日

六月十日・二十二日

腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。

奉納

○「干支(丑) 大絵馬」

南砺市山下

南部 栄殿

富山市

森 弘樹殿

○「国旗」

南砺市高瀬

大和彌寿夫殿

○「カレンダー」

南砺市高瀬

南砺市立井波高瀬保育園
園児御一同



辞令

権禰宜 長谷川宏幸

高瀬神社権禰宜を命ずる

(神社本庁)

(平成二十一年四月一日)

「全国一の宮会」編
公式ガイドブック

「全国一の宮めぐり」
頒価一、〇〇〇円



編集後記

例年がない暖冬のためまとまった降雪もなく、境内の除雪車も出番の無さに少し寂しそうに待機しておりました。

本号に氏子で南砺市教育委員会委員長職務代理者の石岡敬夫氏より寄稿をいただきました。紙面をお借りして深謝いたします。

【表紙写真】 境内に咲く桜

ブライダル相談会及びフェア情報

4月

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■ フェア
 ■ 13時・14時・15時 リハーサル体験会 (要予約)
 ■ 10時～16時 衣裳展示相談会 (要予約)
■ 13時～17時 平日相談会
 ■ 披露宴会場見学会 (要予約)



♡リハーサル体験会 (要予約)

平成21年4月1日 (水)
 5月1日 (金)
 6月1日 (月)
 午後1時・2時・3時

♡衣裳展示相談会 (要予約)

平成21年5月3日(日)・4日(月)・5日(火)
 午前10時～午後4時

♡夏のブライダルフェア

平成21年6月27日(土)・28日(日)
 午前10時～午後5時(参加自由)
 ※午後3時～神前式セミナー及び模擬結婚式



発行日 平成二十一年四月一日
 発行所 越中一宮高瀬神社社務所
 〒932-0217 富山県南砺市高瀬一九一
 TEL 〇七六三三八二〇九三三
 FAX 〇七六三八二〇三〇四
 編集人 浦泰宏
 印刷所 牧印刷株式会社

高瀬神社御用達
 〇七六三三八二〇九三三
 〇七六三八二〇三〇四
 〇七六三三八二〇四六七

真心こめた手造りの粋
 ご婚礼引出物
 いろいろ



寿五品セット



松竹梅



お祝いごとに、贈りものに
 井波の伝統名菓
 文政通商標
 御所落雁